

## 「解答例」

選抜区分	2021年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 法学部（科目名：小論文）
<p>問題1（標準的な解答例）</p> <p>日本では、多くのペットが飼育されている一方で、行き場を失った多くの犬猫たちに対して各自治体で殺処分が行われている。筆者は、この問題の背景として、ペットの流通過程の闇を挙げる。まず問題となるのは、繁殖を繰り返して犬猫を大量生産する悪質なブリーダーの存在である。これらの悪質業者による遺棄や行政への持ち込みが、多数の殺処分の温床となっている。これに対して、動物愛護管理法の改正により、行政は業者からの引き取りを拒否できるようになり、統計上は殺処分の数が減少した。しかし、引き取り屋と呼ばれる業者が現れるようになり、結局、多くの犬猫が劣悪な環境で飼育・監禁され、遺棄されている。登録制の下では、動物取扱業者に動物に対する知識や資格が要求されるわけではなく、ペット市場が「動物の命を大切にする」という感覚ではなく、いかに売りさばき儲けるかというビジネス感覚によって支配されていることを筆者は問題視している。（399字）</p> <p>問題2（出題の意図）別紙</p>	